

環境経営レポート

2020年度版

(取組期間:2019年7月～2020年6月)

作成:2020年7月15日
訂正:2020年8月24日



水と空気を管理する—

山陽技研 株式会社

1.取組の対象組織・活動

(1) 事業者及び代表者名

山陽技研株式会社
代表取締役 井上 沙緒

(2) 所在地

◇本社◇

〒700-0941 岡山県岡山市北区青江4丁目8番1号

TEL: 086-231-0248(代)

FAX: 086-224-4765

URL: <https://www.sanvo-giken.co.jp>

◇倉敷営業所◇

〒712-8032 倉敷市北畝2丁目17番27号

TEL: 086-454-0902

FAX: 086-454-0903

(3) 環境管理責任者及び担当者

責任者 常務取締役 近田 幸典

担当者 総務部 主任 中村 郁恵

E-mail: soumu3@sanvo-giken.co.jp

(4) 事業内容(対象範囲)

建設工事における給排水衛生、空気調和、防災、その他設備工事、設計施工

(5) 事業の規模

設立 1968年6月18日

資本金 4,800万円

売上高 33億円 (2020年6月期)

各事業所の規模

	本社	倉敷営業所	合計
従業員	57名	0名	57名
のべ床面積	900㎡	17㎡	917㎡

認証・登録の対象範囲

登録組織名: 山陽技研株式会社

対象事業所: 本社、倉敷営業所

対象範囲: 建設工事における給排水衛生、空気調和、防災、
その他設備工事、設計施工

2. 環境経営方針

当社は、環境保全の必要性和経営における重要性を認識し、社員一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。

環境汚染、地球環境温暖化の深刻さに興味を持ち、一人ひとりが高い意識をもって継続的に環境保全に努めます。

特に、当社では「**水と空気を管理する**」をキャッチフレーズとしておりますので、節水やガソリン使用量の抑制に積極的に取り組んでまいりたいと思います。

○活動方針

- (1) 環境関連法規を遵守いたします。
- (2) 地球温暖化防止のため、省エネルギーを徹底します。(費用・ガソリン・軽油)
- (3) 廃棄物の削減、リサイクルに努めます。
- (4) 水環境の保全に努めます。
- (5) 環境に配慮した省エネ製品の販売を推奨します。

当社の全ての従業員にこれらの方針の周知を図り、環境保全に対する意識の向上を促します。

2010年7月17日 制定

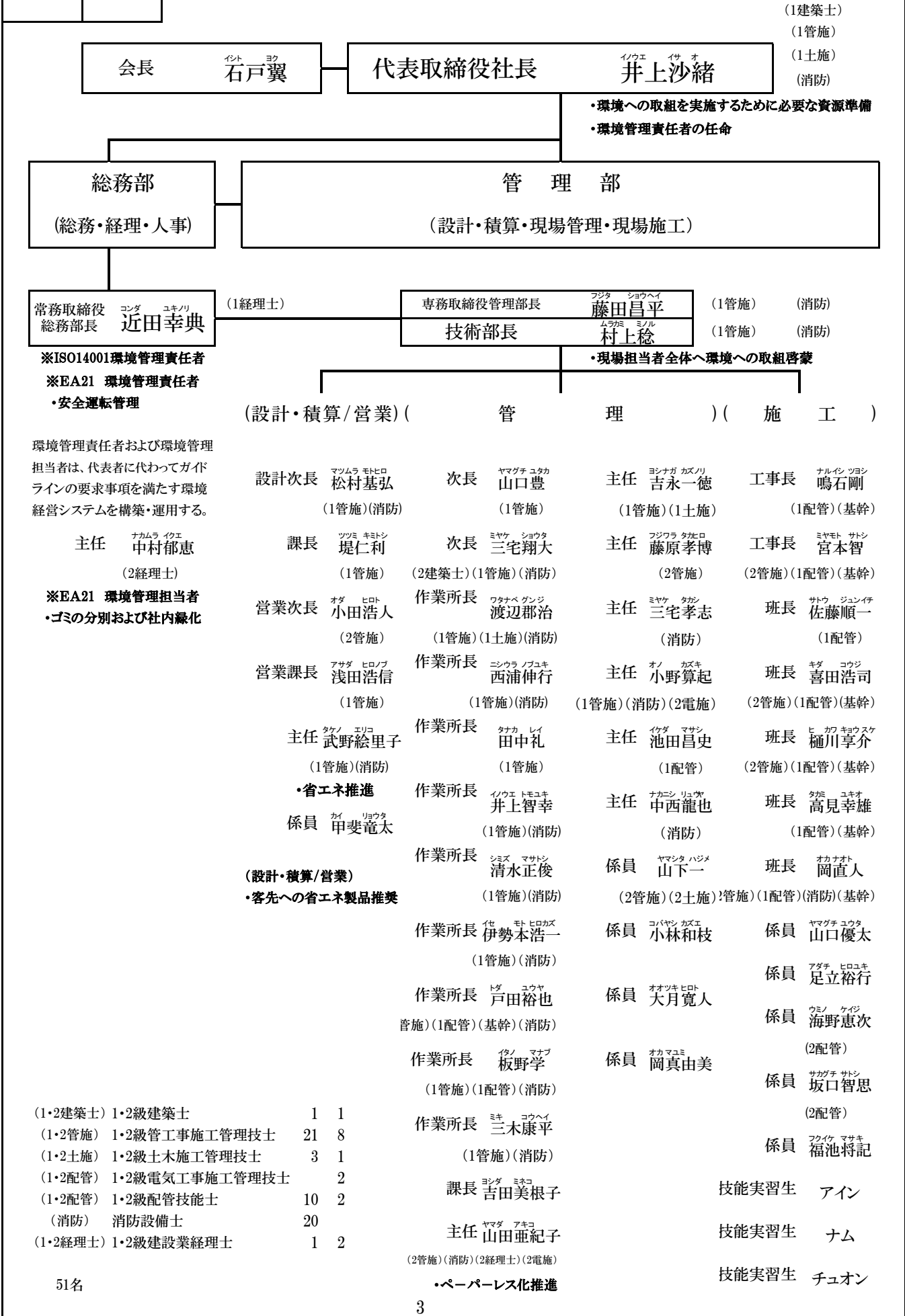
2019年7月1日 改定

山陽技研株式会社

代表取締役 井上 沙緒

作成日	2020年8月5日
作成者	近田幸典
代表者承認	責任者承認

山陽技研株式会社 実施体制図及び役割・責任表



3. 環境経営目標とその実績

表1に当事業所における環境経営目標と実績(総括)を示す。

○主な環境負荷の実績及び目標

【表1 環境経営目標と実績(総括)】

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度	達成率 ※1	2020年度
		目標 (基準年度)	目標 (基準年度比 1%削減)	目標 (基準年度比 2%削減)	実績 (備考)		目標、5% 削減、対 2017年度 比
①二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂	182,067	180,246	178,426	183,820	0.97	172,964
二酸化炭素総排出量(単位売上当たり)	kg-CO₂/単位売上	607	601	595	593	1.00	577
電力 ※2二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	43,004	42,574	42,144	40,904	1.03	40,854
	kWh	60,415	59,811	59,207	58,686	—	57,394
単位売上当たり	kg-CO₂/単位売上	59,811	142	140	132	1.06	56,820
化石燃料 ガソリン 二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	128,045	126,765	125,484	134,847	0.93	121,643
	ℓ	55,192	54,640	54,088	58,124	—	52,432
単位売上当たり	kg-CO₂/単位売上	427	423	418	435	0.96	405
軽油 二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	11,018	10,908	10,798	8,068	1.34	10,467
	ℓ	4,206	4,164	4,122	3,080	—	3,996
単位売上当たり	kg-CO₂/単位売上	37	36	36	26	1.38	35
化石燃料合計	Kg-CO ₂	139,061	137,670	136,280	142,916	0.95	132,108
②廃棄物合計(単位売上当たり)	kg/単位売上	266	263	260	190	1.37	252
産業廃棄物(総排出量)	Kg	66,369	65,705	65,042	50,900	1.28	63,051
建設リサイクルの推進	分別の徹底、再資源化を推進						
単位売上当たり	kg/単位売上	221	219	217	164	1.32	210
事務系一般廃棄物(総排出量)	Kg	13,293	13,160	13,027	7,900	1.65	12,628
単位売上当たり	kg/単位売上	44	44	43	25	1.70	42
③水	m ³	186	184	182	267	0.68	177
単位売上当たり	kg/単位売上	1	1	1	1	0.71	1
④自らが施工・販売・提供する製品	—	客先へ省エネタイプの製品を推奨・提案					

※1 達成率=目標÷実績

※2 電力の二酸化炭素排出係数は0.697(t-CO₂/kWh)としました。(中国電力 平成27年度実排出係数)

4. 環境経営計画及び次年度の取組

取組内容に対する評価結果は以下の通りです。

環境負荷の実績及び目標の評価については、
 二酸化炭素排出量及び水について達成することができなかった。
 二酸化炭素排出量の未達成については遠方の現場が増加・現場件数の増加が原因として考えられる。
 水の未達成については、従業員その他社員の増加に伴い使用量も増加したと考えられる。

定例会議や朝礼の場を活用し、代表者及び環境管理責任者を中心に繰り返し啓蒙に努めました。

項目	計画取組内容	評価結果及び次年度の取組内容
電力	事務所内照明及び各電源のこまめな消灯	業務を行う必要箇所に限って使用するよう留意できた。休憩時間や会議室使用時等不要な電気はこまめに消灯できていた。今後も継続する。
	冷房28℃暖房20℃の温度設定管理の徹底	社内へも表示を設置し、常に意識を持つよう呼びかけたが新型コロナウイルス感染症対策により換気をしながらの冷暖房の使用となった。今後も継続する。
	自然光の効率的な利用	過ごしやすい気候の時期は、窓やブラインドの開閉を工夫してうまく活用できていた。自然の力を借りることで作業効率のアップを図れた。今後も継続する。
ガソリン	アイドリングストップ	昨今の原油価格変動に伴い、ガソリンの価格も変動がかなりあった。少しでも消耗を抑えるべくエコドライブとあわせて呼びかけを継続する。
	エコドライブの徹底	「無事故・無違反チャレンジ200日」へ参加し、安全とエコの両立を図った。結果は1チーム達成。引き続き次年度も頑張りたい。
廃棄物	分別の徹底、リサイクル促進	廃棄物の排出量を抑制することももちろんだが、排出する際の分別・リサイクルを徹底することで、ただの“ゴミ”となる一般ゴミ削減につながるということを度々伝えるよう努めた。今後も継続する。
水道	節水徹底の周知	使用量はもともと少ないが、油断せず、手洗いやトイレでの無駄な使用をしないよう呼びかけた。今後も継続する。
	節水を呼びかける表示の設置	継続的に表示を設置している。今後も継続する。
紙	裏面・両面コピーの利用、プリンタ使用方法の工夫	請負工事件数が増加しているため使用が増えている。引き続き裏紙や両面コピーの推奨をしていきたい。
	データの電子交換によるペーパーレス化促進	社内：専用ネットワーク、スキャナの活用 社外：メール、メディアによるデータの交換 これらにより、紙ベースでの情報交換を抑えられている。また、機密情報漏洩防止にも役立てられている。今後も継続する。
	使用済み封筒の活用	内部資料の管理、シュレッダー使用抑制に役立てている。今後も継続する。
社内緑化	社内の緑化	事務所内外に緑を配置することでリフレッシュと季節感を味わえ、効果的であった。また、花壇等の手入れが行き届いていれば、会社の清潔さもアピールできる。実行していく。
省エネ製品の推奨	客先へ省エネタイプの製品を推奨、提案	現在は省エネタイプの製品が数多く、客先にとっても有益である為、空調機・給湯器等を設計・見積もり段階で提案、推奨できている。今後も継続する。

5. 環境関連法規等順守状況

順守評価日:2020年7月3日

法規	対象設備等	法規制要求事項	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物 (廃プラ、廃金属ほ ぼい)	保管基準の順守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認、交付状況等報告書の提出	順守している
フロン排出抑制法	空調機 ・7.5kw未満 10台	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	順守している
建設リサイクル法		建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	順守している
消防法		(防火対象物)防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備・火災警報設備の点検整備、避難設備の維持	順守している

過去3年間にわたり、法規違反はありませんでした。

また、訴訟ならびに近隣住民からの苦情、関係機関からの指摘も過去3年にわたりありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直の結果

引き続き従業員一人一人の意識定着を望む

エコ商品の推奨など、時代のニーズに沿った提案を得意先へ行うとともに

当社としても環境を考慮した取組を進めていきたい。

2020年7月15日

山陽技研株式会社

代表取締役 井上沙緒